

ご意見	回答
氷川台駅周辺	
既設横断歩道が撤去され、道路東側から氷川台駅入口が遠回りになるのは困る。	既設横断歩道の残置や新たな横断手段の確保については関係機関と協議しながら検討しています。
40mの道路ができることから、駅の出入り口増設は必ず必要である。	氷川台駅の出入り口増設に関しては、東京メトロに申し伝えます。
平和台では地下駐輪場をつくっている。氷川台では地下駐輪場はできないのか。	氷川台駅周辺の駐輪場の整備については整備主体である練馬区と協働しながら道路の地下利用を含めて検討しています。詳細は、下記連絡先に問い合わせください。
開進第一小学校周辺	
開進一小前交差点において、下り線の右折レーンが必要なのか。生活道路に通過交通を呼び込む原因となる。	右折レーンの設置や通過交通の対策を含め、交差点計画について関係機関と協議しながら検討しています。
横断歩道橋はどうなるのか。	道路拡幅工事の際に一時的に撤去しますが、最終的には横断歩道橋を新設する計画です。

放35・36（その他事項）

ご意見	回答
放35（北町・平和台）	
放35（北町部）はいつ開通するのか、早く完成させてほしい。	環八～川越街道区間の平面道路の開通時期については、現在関係機関と協議中です。平和台側及びトンネル部については、引き続き工事を進め、早期完成に努めてまいります。
練馬消防署平和台出張所前の正久保通りで、仮設の歩道拡幅が行われ、以前より利便性が高まった。	ご意見ありがとうございます。正久保通りは歩道幅員が狭く、自転車と歩行者の錯そう等、危険であるという意見を多くいただいております。このため、事業用地の取得状況を確認しながら、引き続き仮設歩道を整備する計画です。
放35（豊玉中～早宮）	
放35（豊玉中～早宮）の計画はどうなっているのか。	現在検討中です。現時点では着手時期は未定です。詳細が決まりましたら皆様へ別途お知らせします。
その他	
用地補償について具体的な話が聞きたい。	今後、用地担当のものから個別にご連絡させていただきます。お手数ですがお問い合わせは下記、用地第一課までお願いします。
バスは通るのか。みどりバス（練馬区のコミュニティバス）はルート変更があるのか。	放35・36の道路整備に伴い、みどりバス氷川台ルートの一部ルート変更が生じます。詳細は決まり次第、練馬区より別途お知らせします。

今後の予定

今回は、平成31年4月に実施しましたオープンハウスでのご意見をまとめたものです。
頂いたご意見も踏まえ、現在、本線の整備に関する道路整備計画（案）を関係機関と協議・調整しながら作成しております。（案）がまとまりましたら、沿道の皆様へ道路整備計画（案）として配布させていただく予定です。
今後、オープンハウス及び説明会の実施についても予定しております。
引き続き、本事業へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

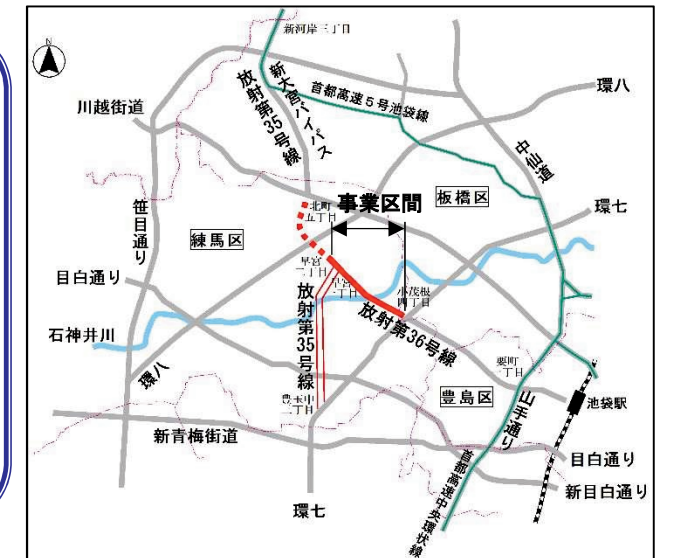
東京都	放射第35・36号線 工事・設計に関すること	東京都 第四建設事務所 工事第一課	電話：03-5978-1730 FAX：03-3947-1419	E-Mail：S0200200@section.metro.tokyo.jp
	放射第35・36号線 用地補償に関すること	東京都 第四建設事務所 用地第一課	電話：03-5978-1722 FAX：03-5978-1754	E-Mail：S0200204@section.metro.tokyo.jp
練馬区	まちづくりに関すること	練馬区 都市整備部 東部地域まちづくり課	電話：03-5984-1594 FAX：03-5984-1226	E-Mail：toubu05@city.nerima.tokyo.jp
	氷川台駅駐輪場に関すること	練馬区 土木部 交通安全課	電話：03-5984-1996 FAX：03-5984-1237	E-Mail：kotsuanzenka03@city.nerima.tokyo.jp

放射第35・36号線（板橋区小茂根～練馬区早宮） オープンハウスで寄せられた主なご意見と回答

事業の概要

東京都では、機能的な都市活動と安全で快適な都市生活をめざして、環状及び放射方向の幹線道路を重点的に整備しています。

本事業は、放射第36号線で唯一整備されていない板橋区小茂根四丁目の環七交差部から練馬区早宮一丁目の放射35号線交差部までの区間と、放射第35号線の練馬区早宮一丁目から練馬区早宮二丁目までの区間について整備を図るものです。



オープンハウス開催状況

日頃より放射第35・36号線をはじめとする東京都の道路事業に、ご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

東京都では、放射第35・36号線（板橋区小茂根四丁目～練馬区早宮二丁目）の整備にあたり、平成31年4月23日（火）、27日（土）に、練馬区と合同で「都・区共同オープンハウス」を開催させていただきました。当日は、多くの皆さまのご参加と貴重なご意見ご要望を頂きありがとうございました。オープンハウスで皆様より頂きました、東京都へ向けられた主なご意見・ご要望と、それに対する回答をお知らせ致します。

【当日の開催状況】

日時	平成31年4月23日（火） 13時00分～16時30分	平成31年4月27日（土） 14時30分～16時00分
会場	早宮地域集会所	開進第四小学校
参加者数	43名	111名
状況写真		

放35・36 (全般事項)

ご意見	回答
オープンハウスの開催について	
オープンハウス形式は個別に具体的な話を聞くことができ良かった。また開催してほしい。今後の予定等、情報を聴ける場を設けてほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の広報のあり方や今後の予定については、P4下面に記載しております。
放35・36全般	
工事はいつ始まるのか。	これまで小茂根、羽沢二丁目において工事前搬入路の工事を進めてきました。来年度から、工事前搬入路の工事を進めながら、石神井川に架かる橋梁の下部工事に着手していく予定です。
道路はいつ完成するのか。	事業認可期間である令和6年3月を目途に進めてまいります。
用地買収はどれくらい進んでいるのか。	平成31年3月時点で、道路整備に必要な面積の約7割を用地取得させていただいております。
幅員が40mと50mで一部違うのはなぜか。	幅員40mが標準です。幅員50mの区間については、将来的に放射第35号線（豊玉中）との立体交差計画があるため、10m広い計画になっています。
用地買収の済んだ箇所から順次工事を進めてほしい。生活再建のためにも早く工事を進めてほしい。	用地取得が他の区間より進んでいる小茂根～石神井川区間については、早期の整備効果発現を目指し、速やかに工事着手できるよう準備を進めております。
各交差点に信号機は付くのか。	信号機の設置箇所については、関係機関と協議しながら検討しています。
道路が出来ることによる周辺住民への影響（騒音、振動、大気汚染等）は考えているのか。	平成22年度に環境影響評価書を提出しており、騒音対策としては、遮音壁を設置する計画です。大気汚染に関する予測では、NO _x 、SPM共に環境基準値以下となります。また、工事中、供用開始後にも事後調査を実施し、適切に対処いたします。
「車」でなく「人」優先の道路を考えてほしい。	道路両側に幅員10mの環境施設帯として、植樹帯や歩道等を配置し、沿道環境に配慮した道路整備を行ってまいります。
道路計画について、最終的な行政案はいつ出るのか。	オープンハウスで頂いたご意見・ご要望も踏まえ、関係機関と協議しながら道路計画を策定しています。

次頁より、皆様から頂いた主なご意見・ご要望を箇所ごとにまとめています。下記の図面と照らし合わせながらご参照下さい。

放35・36 (全体概要図)



放35・36 (環7～石神井川周辺) エリア

ご意見	回答
武蔵野病院前交差点(環七付近)	
環七交差点はなぜ立体化しないのか。立体化しないなら放35・36は2車線整備で良いのではないのか。	環七交差点については、平面交差で道路交通を処理できると想定されることから、当面、平面交差点として整備します。なお、将来の周辺道路ネットワークの整備状況や交通状況等の変化を踏まえて、立体交差化の実施を検討していきます。
環7交差点に横断歩道橋を設置してほしい。	横断歩道橋の設置ではなく、横断歩道を設置した信号交差点として整備する計画です。
小茂根エリア	
仮設歩行者通路が整備され歩行者の安全性が高まり、よかった。	ご意見ありがとうございます。今後とも、早期の整備効果発現を目指して、事業を進めていきます。
区界通り	
放35・36から区界通りへ流入する通過交通への対策が必要ではないか。現状でも、2t、20km規制が守られていない。	現状の安全対策について、所管である板橋区に申し伝えます。将来交通動線については、関係機関と協議しながら検討しています。
現状、区界通りを自転車がスピードを出して通過している。対策をしてほしい。	現状の安全対策について、所管である板橋区に申し伝えます。
羽沢エリア	
羽沢地区を半地下構造にしないのはなぜか。	半地下構造とした場合、本線部は地下、地域の生活道路を地上部に整備することになります。この場合、植樹帯や歩道等の幅員を十分に確保することができません。このため、環境施設帯を十分に活用できる平面整備とする計画です。
上下線で車道の高さが違うのはなぜか。	現状の地形は東西で地盤の高さが異なります。道路を現在の沿道地盤高に合わせるために、中央分離帯箇所に擁壁を設置する計画としています。これにより、沿道地盤との高低差を緩和するとともに、区道からの本線アクセスも容易になります。
区道228号線部の交差点が、十字交差点になったのはよかった。以前のT字交差点では不便だった。	ご意見ありがとうございます。
開進第四小学校周辺	
区道204号線は横断できなくなるのか。小学生の安全な通学手段を確保してほしい。	中央分離帯が設置されることで分離断面となるため、東西の横断はできません。ただし、当該区道は開進第四小学校への主要な通学路であるため、歩行者動線を確保するため、横断歩道橋を計画しております。
エレベーター付きの横断歩道橋を設置してほしい。また、自転車も使えるものにしてほしい。	現在、エレベーター付きの横断歩道橋設置に向けて、関係機関と協議しながら検討しています。
開進四小は避難所だが、災害時はエレベーターは動かないのではないのか。	エレベーターは災害時には運転できません。安全の確認が取れ次第、運転を再開します。
横断歩道橋に比べ、地下道は防犯上良くないため反対である。	地下道は防犯上の観点から好ましくないというご意見を複数の方から頂いております。
石神井川周辺	
石神井川周辺の高低差はどうなるのか。	副道を設置することで本線とのアクセスを確保する計画です。橋の橋面と副道は、右岸側（桜台側）で最大2.5m、左岸側（氷川台駅側）で最大1.5mの高低差が生じます。
川沿いを歩く際、なぜ迂回が必要なのか。これまで通りの動線を確保して、橋の下を通れるようにしてほしい。	新設橋梁の設置高さは既存の正久保橋と合致させ、正久保通りと本線は、T字交差点として整備する計画です。新設橋梁の桁下空間は、約1mであり通行が可能となる十分な空間を設けることは困難です。
左岸側（氷川台駅側）の高低差が出る箇所に階段を設置してほしい。迂回するのは面倒だ。	大きな迂回が無くなるよう、今後、階段の設置の可否については検討して参ります。
石神井川の桜を残してほしい。	工事に必要最低限の範囲で桜の木を伐採します。練馬区と協議しながら、工事完了後には植栽可能な箇所に、桜の木を新たに植える計画です。
右岸側の副道について接道する私道と識別できるようにしてほしい。	副道と私道と識別できるような仕様にします。